

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 047	提案機関名 一般社団法人神奈川県園芸協会
要望問題名 カンキツ類の仕立て方法の確立	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 温州ミカン、レモン等柑橘類の植木苗は近年生産、販売量が増加している。果樹苗としての仕立て方法は複数の主枝を作り樹幹を大きくすることが基本となるが、植木苗では生産場面、利用場面共に、幹の1本仕立てにより樹幹をある程度制限しながらも一定量の着果量を確保することが求められている。 生産現場においては個々の生産者の試行錯誤により対応しているが、生産者間により差が大きく、品質のパラツキが目立つ。そこで、柑橘類の植木苗としての基本的な仕立て方法について研究を要望する。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施   ②実施中   ③継続検討   ④実施済   ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応   ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	カンキツ類の樹幹を制限する栽培は、1本仕立や矮性台木の使用などの根圏を制御して栽培する方法があり、現地において優良事例がありますので、普及指導部署を通じて情報提供します。		
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			